

杉山あつしだより

皆さんの声を県政に！



発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）
第8号（2021年4月25日発行）

静岡市駿河区泉町1-12-202
電話 054-204-1098 FAX 054-204-1099

ご挨拶

静岡県議会議員 杉山あつし

3月末から暖かい日が続いています。コロナ感染は第4波を向かえていると言われ、活動の制限、行事の縮小・中止が続いています。卒業式や入学式でも来賓は最小限となり、議員への参加呼びかけはありませんでした。

そのような中、3月29日に静岡市呉服町に民間による「PCR検査センター静岡」がオープンし、唾液判定でのPCR検査が3300円で受けられるようになりました（迅速検査5500円・ネット事前予約要・現金払不可 080-7224-3665へ）。陽性であった場合は自らが保健所等に報告することとなります。不安がある方はぜひご利用ください。



県議会は3月17日の最終日に、医療機関の病床確保・ワクチン接種体制整備・中小企業の資金繰り支援等、新型コロナ対策500億円を含む「令和3年度予算」、私が検討委員をつとめた「事業者等を守り育てる公契約条例」等を可決し、閉会しました。6月の県知事選挙に向け、自民党の複数の県議からの知事批判が絶えない定例会でした。

静岡市議会議員選挙が終わりました。投票率が40%を下回ったことは残念です。当選した新人議員の皆さんと連携し静岡市を少しでも良くしていきたいと思います。



●県議会 産業委員会で「一時支援金」での部内連携不足を質す（3月9日）

3月9日の産業委員会で次の項目を質問しました。

- ①緊急事態宣言発令の11都府県の飲食店との取引がある事業所で1月から3月の1ヶ月間の売上げが50%減となった企業・個人に支給される「一時支援金」への県の対応
- ②企業立地で成功例の報告はあるが、撤退・縮小の報告はないが把握しているのか
- ③財政措置を拡充する溜池の浚渫(水害防止のため土砂を取り深くする)の初年度の対応
- ④相談が少ない労働委員会の在り方・姿勢

①は久能のイチゴ農家が関係します。申請漏れがないよう迅速な周知を要望しました。

④はコロナ禍で深刻なのに、労働相談の取扱いが少ないことは制度の問題点だと指摘し改善を要望しました。



県産業委員会

●会派中央図書館プロジェクト 県教育長への申入れ(12/17)



木苗・県教育長への要請

老朽化により安全面で支障が出ている県立中央図書館の移転建替えについて、ふじのくに県民クラブの県教育長要請にプロジェクトチーム事務局長として参加しました。この間、2度の先進図書館視察と会派での議論を経て作成した要請書を木苗教育長に直接手渡しました。追加工事がいらないような面積確保、経費節減のためにシンプルな設計にするよう要請しました。

●国交省・河川事務所と安倍川河川敷トイレの水洗化・洋式化で要請・協議

12月23日、国土交通省・静岡河川事務所に対し、平成19年国土交通省の事務連絡どおりに、「**河川敷トイレを認可する場合に水洗化・洋式化での認可**」を行うよう要請しました。1月27日に「静岡市からトイレの設置申請の際相談していく」との回答がありましたが、積極的に周知し、トイレの水洗化と手洗い場の設置を感染予防の視点からも進めるべきとの私の意見との隔たりがあり、河川事務所と静岡市に対して粘り強く要請をしていきます。



国交省・静岡河川事務所での要請

● 県議会「公契約条例」成立(3/17) **公共事業の適切な契約ができる環境整備に向けて**

第6回公契約条例検討委員会に会派代表として参加。「公共事業・委託の良質な市場と質の確保、元請けの中抜き防止、人材育成と確保」を目的とする議員提案の条例を作る検討委員会です。12月に募集したパブリックコメントの検討結果の報告を経て、条例案を決定し、3月18日の本会議で全会一致により成立しました。

自民党が理念条例とする意向を崩さないため、条例本文には報酬下限の設定や罰則は盛り込むことができず、県が定める取組方針に実効性を確保する規定を盛り込ませるよう対応していきます。

●市駿河道路整備課で有東歩道橋修繕時の安全対策で意見



駿河道路整備課に行き、富士見学区・有東歩道橋の修繕工事中の児童安全対策で、意見交換を行いました。

- ①歩道橋封鎖を春休みに入ってから行うこと
- ②新学期は迂回ルートでの通学となるが、町内会の要望に沿ったルートとしたこと

などを確認しました。しっかり地元に報告していきます。



市役所駿河道路整備課で

●市スマートインター周辺整備課で区画整理進捗で意見交換(2/19)

市スマートインター周辺整備課に行き、インター周辺の区画整理の進捗などの意見交換を行いました。造成が進む東名高速北側の第1期工区もコロナの影響で進出企業が固まっておらず、予定よりも遅れているとの話がありました。土地が売れなければ成立しない事業であり大変心配です。

●児童福祉施設従事者慰労金

外国人との共生社会実現に向けて

一部無認可保育(ブラジル人学校)除外に抗議(2/24)

児童福祉施設で感染リスクの中で尽力した職員への慰労金支給が2月24日に承認されました。しかし、詳細を聞くと施設や経営規模により公的助成が少ないところや外国人学校の保育施設が対象外となることが判明。説明不足に抗議するとともに、適用拡大を求めています。

●外国人労働者問題の意見交換 (12/27・2/14)

誤解の多い外国人問題

焼津地域労働組合の協力のもと、外国人労働者問題での意見交換会を行いました。政策形成プロジェクトでの多文化共生部会の取組みです。対応してくれた委員長のリサリートさんと支援者の鈴木さんから、焼津市に多いフィリピン人の実態が報告されました。

- 高学歴の人が多いが、単純作業(水産加工関連)に従事
 - 収入の多くを本国に送金し困窮
 - 車の免許がなく、移動手段がない
 - タガログ語、英語が堪能。簡単な日本語しかできない
 - 福祉や医療関連は市役所に相談するよりも派遣会社の担当者(フィリピン人)に相談することが多い
 - 制服費用をはじめ、子どもの各種学校負担金が高いと感じている
- とのことでした。アンケートを取り、実態の把握から行動していきます。



外国人労働者問題の意見交換



●政策形成PT「女性も担う静岡の地域防災シンポジウム(Zoom)」(2/12)

女性も担う静岡地域防災のシンポジウムを開催し、女性防災リーダーとして地域で孤軍奮闘されておられる4団体・個人からの問題提起と、県から参加した吉永・危機情報課長、高橋・男女共同参画課長と意見交換を行いました。

- 女性の視点の必要性の理解度に地域差があること
- 一年交代の自治会役員に対しては役所主導の女性リーダーの登用・マッチングの必要があること
- 自主防災役員と自治会役員の兼務の問題点
- 地域の状況は女性の方がよく知っている
- 男性任せでいいと考えている女性も多い
- 役員に一人女性がいればいいのではなく複数の女性が入るべき



県庁会場の様子

など、地域防災の課題が多く確認され、今年度しっかり取り組んでいきます。

●3.11を忘れない 福島子ども支援募金活動に協力 (3/11)



東日本大震災から10年となった3月11日、「3.11を忘れないin静岡・福島子ども支援募金」の街頭活動に参加しました。3ヶ月ごとの11日に開催している活動で、募金は福島の子どもの健康を守る活動をしている団体に振り分けて送られます。震災発生時刻の14時46分に皆さんと一緒に黙とうを捧げました。原発事故と子どもの健康の問題は静岡県の防災対策上、重要な課題です。

●静岡県職員組合(出身組合)で県政報告(2/2)

出身労組の静岡県職員組合の春闘要求を決定する委員会で来賓として参加し、県政報告をさせていただきました。



高松海岸清掃後の集合写真

●6R県民運動実践の高松海岸清掃(2/21)

毎月第3日曜日に行われているごみゼロ運動の高松海岸清掃に参加しました。1月に続きゴミがとても少なく、いつもは踏入れない場所まで清掃できました。海岸清掃は静岡県が奨励する6R運動のリカバリーです。

できることから始めよう！
海洋プラスチック
ごみ防止
6R県民運動



●環境リサイクル企業・プラごみ処理工場見学(3/30)

林よしくに県議と清水区に本社のある環境・リサイクル企業「株式会社兼子の横浜戸塚工場」を見学。㈱兼子は横浜市からプラスチック容器包装ゴミの資源化を受託。横浜市は中田市長時代にゴミ30%減量・G30を推進し、分別収集が盛んな自治体。選別されたプラごみは、燃料や製鉄の還元剤に利用。工場は匂いもなく横浜市民の分別マナーがよい証拠です。静岡市の実態と比較していきます。



㈱兼子の横浜戸塚工場

編集後記

県議会の一般質問で「駿河区曲金の視覚特別支援学校に新設・併設される知的障害の特別支援学校の建設」「夜間中学の設置」「結婚支援」など私にとって関心の高い質問がありました。特別支援学校は駿河区内の課題です。視覚特別支援学校関係者への説明の遅れと併設でのデメリットがあり、慎重な対応が求められる。十分な教育を受けられなかった方への学びの保証としての夜間中学は設置地区が決まっておらず、調整に時間がかかります。結婚支援では、晩婚化が進み、出産年齢も上昇、独身者の8割が結婚を希望している現状の中で、令和4年1月に「出会いサポートセンター」を設置するとの答弁がありました。それぞれ今後の動きに注目していきます。



川勝知事が県知事選の出馬表明を行いました。「コロナ対策などを無難にこなせる人材はいても、リニア・大井川の水問題で国土交通省とJR東海と渡り合い、しっかりと主張できる人は川勝知事しかいない」として2月定例会中に知事に出馬を促す動きも見受けられました。今後は対立候補の擁立を目指す自民党の動きが注目されます。

母の死から3か月が経ちました。この間、県議会や静岡市議選などがあり、片付け、相続などやらねばならないことが多く残っており大変です。

この一年、平日は30分、週末は90分を目安に、ほぼ毎朝ジョギングしながらごみ拾いをして、いい汗をかいています。無理せず続けていきます。

「人権尊重・差別のない社会実現」に向け、市民、研究者と政策をつくります

市民、学生らによる政策形成を支援し、県議会議員を通じて、県政に反映するための開かれた仕組みをつくり、その仕組みを通じて、市民、議員、研究者が連携し、意見交換を行いながら政策形成・事業立案を行いながら政策形成・事業立案を目指します。

政策をつくりたい方の参加をお待ちしています。



政策形成プロジェクト

検索



■杉山あつし事務所

静岡市駿河区泉町1-12-202

TEL:054-204-1098

FAX:054-282-0143

携帯電話:090-1279-1443

MAIL:info@sugiatsu.com



杉山あつし後援会 公式LINEアカウント ができました！

杉山あつしの情報を受け取るには、以下のLINEQRコードから友だち追加してください。



ID 461voxc